

# 北京市概況

2020年4月作成



## 北京市概況

- (1) 基本概況・歴史など . . . . . 1
- (2) 経済概況 . . . . . 2
- (3) その他参考 . . . . . 4
- 指導者略歴 . . . . . 8

## 北京市概況 (1) 基本概況

### 1. 基本情報

面積	16410.54 km <sup>2</sup>
人口	2153.6 万人 男 1094 万人 女 1059.6 万人
都市化率	86.6%
人口自然増加率	2.63%
65 歳以上人口比	11.4%

中国の首都で、全国の政治、経済、文化と国際交流の中心。気候は、大陸性気候（気温日変化・年変化が大きく、降水量は少ない）に属し、夏は高温と雨、冬は寒く乾燥し、春と秋は短い。年間の平均気温は 14.2 度、年間降水量は 576 ミリ程度。

## 2. 歴史

北京の歴史は中国の春秋戦国時代（B. C. 403 年–B. C. 221 年）まで遡ることができる。燕国の都がここに決められ、燕京と呼ばれたことがあるので、そこから京と言う略称ができた。その後、金、元、明、清の約 800 年間、都がおかれた。金では「金都」、元では「大都」、明は初め「北平」と称したが 1403 年に「北京」と命名し現在に至っている。1949 年 10 月 1 日、新中国が成立、首都を北京にした。

### （2）経済概況

項目	数値(市内の数値)
GDP	35371.3 億元（前年比+6.1%） 第 1 次産業：113.7 億元（前年比-2.5%） 第 2 次産業：5715.1 億元（前年比+4.5%） 第 3 次産業：29542.5 億元（前年比+6.4%）
1 人当たり GDP	16.4 万元
平均可処分所得	都市住民：67756 元（前年比+8.7%）
実質外資利用額	142.1 億ドル（前年比-17.9%）
輸出入総額	28663.5 億元（前年比+5.4%） 輸出総額：5167.8 億元（前年比+6.1%） 輸入総額：23495.7 億元（前年比+5.3%）
旅客輸送量	72149.2 万人（前年比+6.8%） 鉄道：14754.9 万人（前年比+3.4%） 幹線道路：48151.4 万人（前年比+9.0%） 民間航空：9242.9 万人（前年比+1.3%）

## 1. インフラ

### 「鉄道」

北京は中国国鉄の中心地であり、国内全省都への直通列車や、モスクワ、ウランバートル、平壤行き近隣諸国への国際列車が発着する。国際鉄道輸送では、内モンゴル自治区の満州里市からロシアの都市、内モンゴル自治区のエレンホト市を經由し、モンゴルの首都ウランバートル、北朝鮮の首都平壤、ベトナムの首都ハノイ行きの列車がある。

### 「空港」

北京首都国際空港は北京中心部から約 25 キロ北東に位置する中国最大級の空港。また、北京大興国際空港が建国 70 周年に合わせ 2019 年 9 月に軍民共用として開港した。

## 2. 開発区について

### ■国家経済技術開発区 「北京経済技術開発区」



1991年8月15日に北京市人民政府が認可し、建設を開始。1994年8月25日に国家級の経済技術開発区として国務院に認可された。1999年1月に中関村科学技術園亦荘区となる。

開発区は北京市中心の天安門広場から16.5 km、首都国際空港まで25 km。

#### 【開発区に進出している一部の外資系企業】

NOKIA、GE、GM、BAYER、SIEMENS、UNILEVER、ABB、TETRA-PAK、DELPHI PHILIPS、HYUNDAI、LOTTE等。

#### 【北京開発区に進出している日系企業】

累計約45社、投資額は6.6億ドル。

三洋、松下電工、伊藤忠商事、資生堂、第一製薬、島津制作所、大金工業等。

#### 【日中国際協力産業園】

北京市大興区政府と北京市経済技術開発区などが計画・実施しているプロジェクトで、起步区（スタートエリア）、核心区（核心エリア）、拓展区（エクステンデリア）などから構成されている。①医薬、②IT、③ロボット・スマート製造、④新エネルギー・新材料の四大産業の発展を計画。

### ■国家級ハイテク技術産業開発区 「中関村科技園区」

イノベーション推進都市機構。日本と中国のベンチャー企業の架け橋としてユニコーン企業の創出を目的としている。中関村は北京を中心とした16ブロックの地域に分けられ、この中に参加企業や研究機関が点在する形で構成されている。総面積は488 km<sup>2</sup>に及び、その規模は東京ドーム10,383個分。

ハイテク企業数：約22,000社 総従業員数：約267万人

総売上額：約93兆円 ベンチャーキャピタル投資総額：1.6兆円

全国イノベーション投資総額割合：24.7%

主力産業：

インターネット／バイオ／ビッグデータ／次世代自動車／移動医療／スマートインテリア／FinTech／インターネット教育／エネルギーテクノロジー／環境サービス／IoT／人工知能等

## ■保税區 「北京天竺綜合保税區」

2008年7月23日設立。全国に認可された7つの保税港区と3つの綜合保税區のうち、唯一の空港型綜合保税區。

### 3. 北京市に本部を置く著名な企業

#### ・小米科技

綜合家電メーカーで、2010年4月6日に雷軍によって設立された。スマートフォンメーカーとして創業し、2011年8月16日に北京市にて、初代小米手機を発表した。

#### ・北京汽車

1953年、中国政府の投資により第一汽車附件廠として設立され、自動車部品の製造を行った。1958年には現在の名称に改名された。2019年7月23日、ダイムラーの株式5%を取得したことを発表。2003年からダイムラーとは提携関係にあり、メルセデス・ベンツを生産してきた。

#### ・中国船舶重工集團

国有の造船企業。中国海軍用の潜水艦、ミサイル艇、駆逐艦、フリゲート艦、水陸両用艇やそれらに搭載する武器や装備、民間のタンカー、コンテナ船などの船の製造、海洋掘削プラットフォームの建造など幅広い船舶関連事業を行っている。

#### ・万達集團

不動産業を中心としたコングロマリットであり、中国国内110近い都市での開発や、大型のショッピングモール、高級ホテル、マンション、映画製作などを行っている。また、アメリカでの高級ホテル開発や、FIFAのスポンサーやトライアスロン運営企業を買収など、海外への投資やスポーツへのサポートなども行っている。

#### ・中国鉄建

中国最大の建設会社で、中国人民解放軍の鉄道部を元とし、中国のみならず海外において、都市開発、鉄道施設、トンネル掘削、高速道路建設、水力発電所建設など様々な大規模建設事業を行っている。

#### ・百度グループ

インターネット検索事業を中心とする企業。中国のインターネット検索シェアでは1位で、2005年5月にはNASDAQ市場にも上場している。

### (3) その他参考情報

#### 1. 友好都市・姉妹都市

1979年3月14日東京都と姉妹都市になった。

#### 2. 世界遺産



### 万里の長城

万里の長城は、渤海湾沿岸からゴビ砂漠まで全長約 6000km といわれる長大な防壁として築かれた。その起源は春秋時代（紀元前 8 世紀～同 5 世紀）にさかのぼり、紀元前 3 世紀に秦の始皇帝が北方民族の侵入に備えて修築し、さらに西方に延ばした。現在残っている長城はほとんどが明代のものである。



### 頤和園

17 世紀に築かれ、以後 200 年以上にわたって拡大され、北京城西直門より北西へ約 10km の地にある。1869 年、英仏連合軍の侵攻により円明園とともに焼失したが、1888 年に再建して現在の名に改称された。北側の万寿山と南側の昆明湖の中に建てられ、総面積約 3.7 km<sup>2</sup>、その 4 分の 3 は水面にある。



### 天壇

天壇は中国で冬至の日、即位の大典の直前や親征出発前などに中国皇帝が天を祀る円形の丘壇。中国人の宇宙観にある天と地との関係や、その関係の中で皇帝の果たす特殊な役割の象徴である。古来首都の南方に設けられ、北京には 1420 年南方の外城に建造された。1889 年焼失したが、10 年後に再興された。



### 北京原人遺跡

北京の南西 42 キロに位置し、遺跡の科学的調査が続けられている。科学者たちは中国の類人猿の北京人の遺跡を発見し、周口店跡は、古代アジア大陸の人間社会に関する稀な歴史的証拠であるだけでなく、人類の進化の過程も明らかにしている。



### 北京と瀋陽の明・清王朝皇宮

永楽帝時代 1420 年に完成した。官庁・王府街の中心に位置する紫禁城は、現在故宮博物院となっており、中国で現存する最大の木造建築物群である。その規模は東西 760m、南北 960m に及び、9000 余の建物が存在する。



### 明・清朝の皇帝陵墓群

明と清時代の皇帝の墓は人類が介在して造られた自然遺産で、伝統的な建築デザインや装飾の建物が数多く存在している。それらは封建中国の世界観や権力の概念が 5 世紀にわたって続いたことを示している。



### 中国大運河

中国の 8 つの省を貫き、北は北京から南は浙江省に至る大運河。紀元前 5 世紀前から建設が始まり、後 7 世紀の隋時代には、広大な中国内陸部を結ぶ交通網となった。その後も歴代王朝によって維持拡張され、国民への米や穀物の供給、軍事物資や軍隊の輸送に利用され続けた。

### 3、名物料理

北京料理（京菜）：宮廷料理であったため、手の込んだ繊細な、そして見栄えのする料理が多い。また華北であるため、米や魚よりも小麦粉や獣肉を多用している。



#### 北京ダック

窯の中でアヒルをパリパリに焼き、皮を削ぎ切りにし、「薄餅」(バオビン) または「荷葉餅」(ホーイエビン) と呼ばれる小麦粉を薄く延ばして加熱した皮に、ネギ、キュウリや甜麺醤と共に包んで食べる料理。



#### 涮羊肉

羊肉のしゃぶしゃぶ。薬味をきかせたタレにつけて楽しむ北京料理の代表的な鍋料理。

火鍋の煮えたぎった湯で薄切りの羊肉をゆすいで（涮）食べる。



#### 肉末焼餅

小麦粉をこねて焼いたパンの一種「焼餅」の中に、そばろを詰めた食べ物。現在の肉末焼餅の起源は、北京の宮廷料理にあるともいわれる。これは、この料理が満漢全席のメニューのひとつであることと、清朝の西太后が好物にしていたと言われることによる。



#### 饅頭 (マントウ)

小麦粉に酵母を加えて発酵させた後、蒸して作る中国の蒸しパン。華北や東北地方一帯は寒冷地で降水量がそれほど多くないため、米の栽培に適していないが、小麦の栽培には適しているため、伝統的に麺類またはマントウが主食として食べられる。

## 指導者の略歴

### 北京市委員会書記 蔡奇 さい・き



1955年12月生まれ、

福建省尤溪（ゆうけい）県出身、漢民族

1975年8月入党

現職：中央政治局委員、北京市党委員会書記、北京2022冬季オリンピック・冬季パラリンピック組織委員会委員長、党委員会書記

学歴：福建師範大学政教系政治経済学専攻、経済法律学院修士研究生班、博士研究生班政治経済学専攻、経済学博士

#### 【主な略歴】

- 1978-1983 福建師範大学党委員会事務局幹部
- 1983-1987 福建省委員会事務局統合部部長
- 1987-1991 福建省委員会事務局事務局長
- 1991-1992 福建省政治改革局副局長
- 1992-1993 福建省党建設局副局長、地方委員会事務局・事務局会議メンバー
- 1993-1996 福建省委員会副局長、事務局会議メンバー（1994-1996年、福建省三明市党委員会副書記、1996.03-1996.07中央党学校幹部研修コース）
- 1996-1997 福建省三明市委員会副書記
- 1997-1999 福建省三明市党委員会副書記、副市長、市長
- 1999-2002 江蘇省張州市党委員会副書記、市長
- 2002-2004 江蘇省張州市党委員会書記、全国人民代表大会常任委員会委員長
- 2004-2007 台州市党委員会書記
- 2007-2010 杭州市党委員会副書記、市長
- 2010-2013 江蘇省常任委員会・組織部部長
- 2013-2014 江蘇省常任委員、副省長
- 2014-2015 中央国家安全保障会議副所長
- 2015-2016 中央国家安全保障会議事務局副所長（正部長級）
- 2016-2017 北京市党委員会副書記、副市長、市長、北京2022冬季オリンピック・冬季パラリンピック組織委員会事務局局長、党副書記
- 2017-2017 北京市党委員会書記、2022年冬季オリンピック・冬季パラリンピック競技大会組織委員会委員長、党委員会書記



北京市委員会副書記 陈吉宁 ちん・きちねい



1964年2月生まれ

吉林省梨樹（りじゆ）県出身、漢民族

1984年6月入党

現職：北京市委員会副書記、市長、市委員会書記、北京冬季オリンピック組織委員会党副書記、執行委員長

第19期中央委員会委員、第19回党大会代表、北京第15回全国人民代表大会代表

学歴：清華大学土木・環境工程系、英国インペリアル・カレッジ・ロンドン土木系、工学博士、教授

【主な略歴】

1998-1999 清華大学環境科学工学科副所長

1999-2006 清華大学環境科学工学科長

2006-2007 清華大学副学長

2007-2012 清華大学副学長（正局級）

2012-2015 清華大学学長（副部長級）

2015 環境保護省の党グループ書記

2015-2017 環境保護省の党グループ書記，大臣

2017-2017 北京市委員会副書記，副市長，副市長，副市長，市政府の党グループ書記，北京冬季オリンピック組織委員会の党副書記

2017-2018 北京市委員会副書記，副市長，副市長，市委員会書記，北京冬季オリンピック組織委員会の党副書記，執行委員長

以上